

ステンレス製防災用手押しポンプ(ZO-)点検

東日本大震災に伴い、現在 5 割程度の水道が停止している K 市内に昨年設置した防災用ステンレス製手押しポンプの点検に向かいました。

K 市役所に近づくにつれ屋根瓦の一部が崩壊している民家が目立ち始めました。県道は地震による段差を応急的に埋めた箇所も確認しました。



途中、緊急地震速報がラジオと携帯から流れ、弱い地震を感じました。強い余震が続いている地域だったので東京に居るよりも不安を感じましたが、市内の住民は毎日の事なので強いストレスを溜めている事でしょう。

K 市役所に到着。駐車場内に給水箇所が設けてあり、市民がタンク等に水を入れていました。



市役所で挨拶を済ませ、防災用手押しポンプの設置している井戸の点検をしましたが、幸いにも故障箇所はありませんでした。点検途中の 1 箇所は飲料水として使える井戸があります。そこでペットボトルに溜めている人に会いました。となり町から毎日汲みに来て、復旧は 5 月末予定との事でしたが、力強く笑顔で対応してくれた事に微力ながら改めて役に立ちたいと感じました。



K 市地域の被害状況は甚大地域が多い中、マスメディアにはあまりクローズアップされません。しかし、ひび割れや液状化した路面、傾いた家屋等、この地域も大変です。現在、私の身近な事として計画停電やティッシュペーパー等の品薄を含めて、当り前の生活が当たり前でなくなった時、当り前の有難さを痛感した本日の K 市内点検でした。

末筆となりますが、被災地域の早期復興と、救援及び復旧活動中の皆様の安全を心からお祈り申し上げます。

平成 23 年 3 月 22 日
おかもとポンプ株式会社
営業部長
寺林文彦